

【参考資料】

<雨水抑制 適用基準早見表>

開発事業 区域面積 $\geq 500 \text{ m}^2$	下水道事業 認可区域(雨水)内	適用基準
○	○	(1) 総合治水対策による施設 及び (2) 下水道雨水計画を考慮した施設
○	×	(1)のみ
×	○	(2)のみ
×	×	基準適用外

※ 下水道事業認可区域（雨水）については所沢市 HP または下水道整備課窓口にて確認可能

※ 一部の土地区画整理事業地区内を除く

<雨水抑制 チェックリスト>

確認内容	チェックポイント
全体	
抑制施設の寸法	平面図・構造図・計算書に記載されている寸法が一致しているか。
抑制施設の規模	「敷地面積」ではなく「開発事業区域の面積」に応じた抑制施設となっているか。
雨水抑制協議書	河川課へ雨水抑制協議書（正副2部）を提出しているか。
平面図	
雨水の集水ルート	抑制施設が集水エリアごとに設置され、区域外への雨水流出が抑制されるような施設配置となっているか。また、それが図面から読み取ることができるか。
抑制施設の配置	抑制施設を並列に設置する場合は、浸透能力を考慮して設置されているか。 隣地境界、擁壁等の工作物、法面等と施設の離隔について、十分検討が行われているか。
構造図	
抑制施設の寸法	正面図・平面図・側面図に記載されている寸法が一致しているか。
有効水深	放流管を設置する際において、放流管底が抑制施設上端より低い位置のときは、放流管底までを有効水深とする。
透水シート	浸透面全てに透水シートを設置する旨の記載があるか。
施設土被り（トレンチ）	施設上端の土被りが200mm以上確保されているか。
有孔管設置（トレンチ）	有孔管が水平となっているか。
有孔管高（トレンチ）	有孔管から施設上端までの高さは100mm以上確保されているか。
有孔管径（トレンチ）	有孔管の直径は150mm以上か。
有孔管延長（トレンチ）	区間あたりの延長が内径の120倍以下となっているか。
スクリーン（トレンチ）	スクリーンを設置する旨の記載があるか。
砕石	砕石について再生材不可である旨の記載があるか。
計算	
3 (2) 下水道雨水計画による抑制流出係数の算定	各種別に応じて計算されているか。特に、道路後退分・ごみ集積所については0.85で計算されているか。
3 (2) 下水道雨水計画による抑制計画流出係数	適切な計画流出係数 C_0 を用いて計算されているか。 (砂川堀流域のみ0.45、それ以外は0.5とする。)
その他	
抑制施設の仕様	製品を使用する場合、当該製品の仕様を図示するとともに、その資料（カタログの写し等）を提出する。
抑制施設の既設再利用	既設の抑制施設については、機能が十分確保されているか確認するとともに、設置当初の資料を提出する。